

最近、物が見えにくくありませんか？ それは白内障かもしれませんよ。

最近、本や新聞を読むと目が疲れる。相手の顔がぼんやりかすんで見える。明るい所がとてもまぶしい。など、心当たりの症状がありませんか？

それは白内障が原因かもしれませんよ。

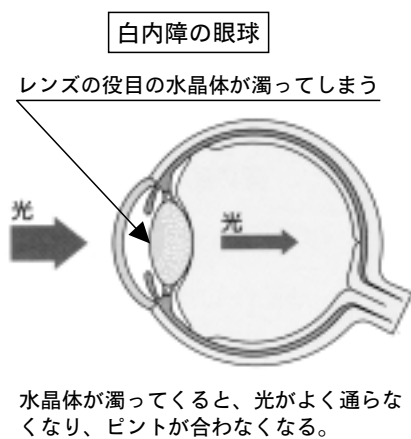
白内障とは

白内障とは、目の中の水晶体が濁ることによって、光が十分に通過できなくなったり、乱反射したりして視力が低下することをいいます。

初期の自覚症状はほとんどなく、次第に次のような症状が現われますが、痛みや充血はありません。

◎かすんで見える

曇ったようで、なんだかはっきり



◎まぶしい

しない。すりガラスを透したように見える。

対向車のライトがとてもまぶしく感じるようになった。明るいところで見えにくい。

◎二重に見える

物が二重三重に見える。めがねを作ってもすぐ合わなくなる。

白内障は、アトピー性皮膚炎や糖尿病、目のけがなど、様々な原因で起こりますが、95%以上は加齢性白



美濃病院 眼科診療部長
岩崎 雄二 医師
日本眼科学会専門医

《眼科外来診療時間》

月～金曜日 9:00～12:00

水・金曜日 16:00～17:00



▲白内障手術



▲細隙燈検査

内障といって、一種の老化現象です。60歳代で70%、70歳代で90%、80歳代では100%の方が白内障にかかっているといわれています。

白内障を放置しておくとも視力が徐々に低下してしまい、他の病気を引き起こす原因にもなりますので、適切な治療が必要です。

治療法は

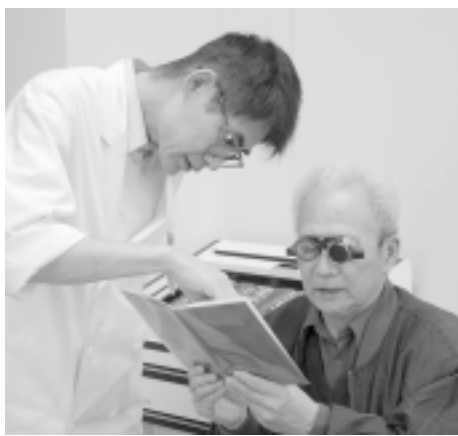
日常生活に不自由がない程度の白内障の方には、目薬や飲み薬で進行を遅らせます。

しかし、これらの薬は病気の進行を遅らせるだけで、視力の低下や症状を回復させるには、手術するしかありません。

ですから、白内障が進行して日常生活に不自由を感じるようになってきたら手術が必要です。

例えば、自動車の運転の必要な方なら、免許の基準である0.7未満まで視力が低下したら手術をお勧めします。

逆に視力が0.1以下でも生活に不自由がなければ手術を延期してもかまいませんが、あまり放置しすぎ



▲めがね処方

ると水晶体内の物質が漏れ出てアレルギー性のぶどう膜炎や急性の緑内障になるので、その前には手術をする必要があります。

最近の白内障の手術方法の進歩はめざましく、目に他の病気がなければ、手術によってほとんどが視力を回復できます。

美濃病院では

美濃病院では手術顕微鏡、超音波乳化吸引装置などの最新機器を使用し、濁った水晶体を超音波で砕いて取り出し、人工レンズを入れる手術を行っています。

症状により個人差はありますが、手術は局部麻酔で行われ、およそ30分で終了します。

入院期間は原則1泊2日ですが、患者様の都合に合わせて日帰りから1週間まで選択可能です。

また、80歳以上の方で、ある程度白内障が進行している方には、日常生活に不自由がなくても手術をお勧めしています。

なぜなら、年を重ねることに体のあちらこちらから故障が出てくるため、手術前後の通院や入院が長期にわたったり、付き添いが必要になったりするからです。

手術の安全性が高いことを考えると、元氣なうちに手術を受けて、その後の生活を明るく過ごした方が良いと考えています。

定期健診を

当院では白内障手術のほかにも網膜光凝固術、緑内障の視野検査などやコンタクトレンズ、めがねの処方まで幅広い診療を実施しており、日本眼科学会からも専門医制度研修施設として指定されています。

物が見えにくくなる原因は、白内障だけではなく、緑内障や高血圧・糖尿病による原因なども考えられます。大切な目を守るため定期検査を受けましょう。

整形外科 外来診療日の変更

月・火・木・金曜日 9:00～12:00

毎週水曜日の外来診療は手術や入院患者様の治療に専念させていただくために、休診させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。